

コロナ禍におけるオンライン診療の現状 ～ポストコロナに向けて考えるべきこと～

講師

豊田 剛一郎

東北大学特任教授（客員）

株式会社メドレー 代表取締役医師



医師、米国医師。東京大学医学部卒業後、国内での脳神経外科勤務を経てミシガン小児病院に留学。

その後、マッキンゼー・アンド・カンパニーを経て2015年株式会社メドレーに参画。代表取締役医師としてオンライン診療やクラウド電子カルテ等、医療インターネットの推進を目指す。

新型コロナウイルスのパンデミックはこれまで人間が発展し、人間らしさの源であった、人と人と接する、ということ

を制限し、さまざまな試練をもたらしました。そして、コロナ禍が、私たちの生活、考え方、働き方など、様々なものががらりと変わる潮目にいる、というとらえ方をおそらく多くの方々がお持ちであると思います。世界各国が試行錯誤で人類への試練に立ち向かっている中、様々な試みやテクノロジーが毎日のように報道され、テレビをつければ第三者的な批評が目についてしまい、本当に日本は大丈夫なのだろうか？と思いながら生活されている方も多いと思います。この試練に対して、私たちは批評するのではなく、自分たちで未来を切り拓いていかなければならない、という思いは多くの方々も一緒の思いでいらっしゃるものと思います。未来型医療創造卓越大学院は、これから必須となるデータサイエンスに取り組み、新しいテクノロジーに親和性を持ち続けながら、”解決すべき課題”を探索し、解決までのプロセスをデザインする人材の育成に取り組んでいます。

そこで、卓越大学院プログラムの講師の皆様にあつターコロナについての世界観を伺い、一人一人考えるべく、連続シリーズで講演をいただくことになりました。第3回目の豊田先生が代表を務めるメドレーは、エンジニアと医師・医療従事者を含む開発チームを有し、「医療ヘルスケアの未来をつくる」というミッションのもと、アフターコロナの時代に必須の遠隔医療の基盤となるインターネットサービスを提供しています。アフターコロナの世界観、アフターコロナに向けての先生のアクション、メドレーの取り組みについてお話しいただきます。

日時

2020. 6. 23 (火) 18:00～19:00

会場

オンラインセミナー（Zoomにて開催）



申し込み

以下 [1] か [2] のいずれかの方法で、6月22日（月）までにお申し込みください

1. 申し込みフォーム：<https://forms.gle/Dc65oBYt7R6r76WN8>

2. メールに以下を明記の上『6/23 豊田剛一郎先生講演会参加希望』と題して takuetsu-asu@crieto.hosp.tohoku.ac.jp へご連絡をお願いいたします。

1) 氏名・フリガナ 2) 所属・役職 3) メールアドレス（参加URLをお送りします）

◆ 公開セミナーとして開催されますので、どなたでもご参加いただけます



未来型医療創造卓越大学院プログラム

共催：東北大学病院臨床研究推進センターバイオデザイン部門 / スマートホスピタル推進室